



国指定重要文化財 札幌市時計台

時計台の鐘

第 79 号

特定非営利活動法人

さっぽろ時計台の会

会 長 谷 征 輝

札幌市中央区北1条西2丁目

時計台内

TEL 011-251-5944

“先達の意を大切に”

会 長 谷 征 輝

札幌市民憲章の前文に「わたしたちは、時計台の鐘かなる札幌の市民です」とあります。澄んだ鐘の音をひびかせ札幌の人々に愛され、札幌のシンボル、札幌の人の心のふるさと、札幌の記憶等と言われておりますその時計台の愛護活動を重ね、輝かしい歴史と伝統のさっぽろ時計台の会五代会長を拝命し、改めてその責任の重さに身の引き締る思いであります。もとより浅学非才ありますが、先達の理念と情熱、誇りを今一度見つめその意を大切にしつつ、愛護の灯をともして四十年の歴史に残る足跡に思いを馳せ、只管に会の発展に微力ではありますが最大限の情熱を傾注してまいる所存であります。会員の皆様はじめ関係各位の御支援、御協力を切にお願い申し上げます。

この度でご勇退されました前会長木原直彦氏は就任以来十二年、この間旧時計台を守る市民の会を「さっぽろ時計台の会」に改称し、設立30周年記念祝賀会開催。時計台創建130周年記念式典の挙行、記念誌「時計台ものがたり」刊行、展覧会「時計台の鐘とともに」開催。時計台創建135周年記念式典挙行、記念誌「札幌ものがたり」刊行。等々率先垂範され幾多の事業を実行され会に多大な貢献をされました。ここに衷心より敬意を表し感謝を申し上げます。今後も名誉会長として高所大所から御指導下さいますようお願い申し上げます。

北海道史研究の泰斗であり当会初代会長高倉新一郎氏は「ともあれ、時計台は札幌の文化を生み育てる基地となった建物であり、その歴史・変遷はとりもなおさず札幌の文化の発達変遷を物語るものだったのである。今時計台は発展し変わりつつある札幌市の真中であって、次第に古び、昔の面影を失おうとしている。しかし、幾度かの危機が襲ったにもかかわらず、その度に市民は、教育者が先頭に立って時計台に新しい意義と教訓を見出し、これを守りつづけて来た。時計台の存在は札幌の市民の文化の表現であり、試金石であった。これを守りつづけ、如何に世の中が変わっても、違和感のないように育てて行くことこそ、札幌市長の誇るべき文化性なのである。」と述べております。これからも未知の世界の運命を刻む澄んだ鐘の音を札幌の空に響かせていく事でしょう、その時計台を私達は未来に向け先達の意を伝承していこうではありませんか。

第33回 (平成26年)

時計台まつり記念行事



創建記念式典・児童絵画展表彰式

創建136周年の節目の年に札幌児童絵画展表彰式を観光文化局文化部長の川上様はじめ、多数の来賓のご出席をいただき盛大に開催いたしました。児童絵画表彰式と合わせて、児童、ご両親をはじめ関係者の皆様が見守る中、行うことができました。

式典では、川上部長の時計台への思いを語られ、改めて時計台への愛着、そして札幌への郷土愛を深めることができました。時計台を愛する心をひとつにすることができ、喜ばしい式典となりました。



裏千家淡交会による呈茶

今年度は、淡交会の事情で創立記念より若干おそくなりまりましたが、十月十八日(土)に、裏千家淡交会の方々が来館した皆様にお茶を入れたくださいました。

当日は、朝から外国からのお客様が多数お見えになり大喜びでお茶をいただいていた姿が心に残ります。着物姿にも感激していました。

昨年にも増して盛況で用意した雛菓子があったという間になくなり、大盛況を物語っております。

記念演奏会

各種ジャンルの音楽コンサート等を年5回実施しています。「広報さっぽろ」北海道新聞社社告、各区公共施設へのチラシ配布を通し、市民への広報に努めた甲斐があり、盛会にコンサートを開催することができました。応募者が、入場者定員を上回るコンサートもありましたが、抽選をさせていただきます。



今年度の音楽コンサート

①六月二十六日(木)

懐かしの昭和
オールデイズ ライブ
ザ・バイブレーション

三十五、六年前に職場の仲間達とバンドを結成。ベンチャーズの曲をはじめ、中高年にとってはなじみのある曲ばかり。時を越えて青春の思い出が蘇ってきました。

バンドとしてはまだまだと謙遜していましたが、これからより熟成していくことでしょう。

②七月二十五日(金)

二胡の調べ
中華二胡学院

中華二胡学院の指導者の方と生徒の皆様の演奏でした。

時計台のホールに響き渡る二胡の調べにうっとりでした。

また、尺八とのコラボは、絶品でした。日本の様々な曲も二胡の演奏になると雰囲気が変わり、聞き惚れてしまいました。

③八月二十七日(水)

マリンバの世界へ
スターマリンバ

米国ポストン音楽院大学院で学んだマリンバ

の音色や技法は目を見張るものがありました。数々のコンクールでの受賞に納得できるマリッパの演奏は、聴衆を魅了しました。

④九月十九日(金)

「時計台スィングタイム」

赤坂実カルテット+きむらあつこ

昨年度入場希望者が殺到し、抽選に漏れた方がたくさんいたので今年度もお願いいたしました。おなじみの曲を軽快に演奏し、心が軽くなる感じがしました。また、サクスの音色が心地よく、時計台の夜の雰囲気にとピッタリでした。



⑤十月十六日(木)

ピアノコンサート

「ショパンの作曲とスペインの曲」

ノックコライブ

耳馴染みのショパンの作曲をチョイスしていただき、ホールをクラシックの世界に包み込んでくれました。やはり、ピアノの音色は心に染みます。

〈声〉

様々なジャンルのコンサートを毎回楽しみにしています。

児童絵画コンクール

札幌市教育長賞

札幌市立真駒内桜山小学校
6年 井上ゆいか

北海道新聞社賞

札幌市立栄西小学校
2年 河野 朱莉

北海道新聞社賞

札幌市立澄川西小学校
3年 和歌 雛子



4拍+2拍

前川 公美夫 様

♪と〜〜けい〜だいの〜〜かねが〜なる〜
〜……

これは「時計台の鐘」の歌い出しである。ここで「この歌は何拍子か」という質問を出したら、ちよつと音楽の授業風になってくる。その答えは：楽譜の最初に「3/4」と書いてある。1小節に4分音符が3個入る「4分の3拍子」である。話はこれで終わってしまうところだが、実際のところ、この歌い出しが4分の3拍子に聞こえるかと言え、ちよつと首をひねるところだ。

私自身そう思っていたところへ、そのことを問いいわせてきた人がいた。そのとき私は、「最初の2小節は『4拍+2拍』できていると思いません」と答えた。

歌詞に区切りの線を入れてみよう。冒頭の平仮名表記は文字1個を8分音符に充ててあり、「4分の3拍子」で表記すると次のようになる。

♪と〜〜けい〜だいの〜〜かねが〜なる〜
〜……

3拍子のリズムは「強・弱・弱」である。各小節の頭にある音が「強」で、この歌詞の「と」「だ」「か」「る」がそれに当たることになるのだが、歌うとき、2小節目の「だ」を強くすることは、そう簡単ではないだろう。

その理由として、私は2つのことを考えている。ひとつは、「とけいだい」という言葉のまとまりの強さで、途中にある「だ」を強調することはちよつと難しい。

もうひとつは、この部分の伴奏に、3拍子の感じが薄いことである。「3拍子」は、「ズンチャッチャツ」の「ズン」を強めることでその感じが打ち出される。

ところが、この低音部分は2小節目の頭に「ズン」がない。代わって、2拍目に変わる音がまるで小節の頭であるかのように聞こえる。その結果、この2小節は

♪と〜〜けい〜だいの〜〜かねが〜なる〜
〜……

と、「4拍+2拍」に感じられるのだ。問い合わせてきたのは小学校の先生で、私の説明に納得してくれたようだった。作詞・作曲の高階哲夫は何と言うだろうか。

平成26年度 会の主な活動

- 3月11日 時計台まつり記念行事の出演団体の決定・連絡
- 4月3日 総務・理事会開催案内
- 10日 時計台まつり実行委員の委嘱依頼
- 17日 会計監査
- 23日 第1回理事会
- 27日 「広報さっぽろ」6月号原稿依頼
- 30日 通常総会(活動・決算報告、活動計画・予算審議)
- 5月2日 時計台まつり実行委員会委嘱
- 時計台まつり実行委員会案内
- 13日 会員への総会報告・会費納入案内
- 15日 札幌市記念行事負担金交付申請
- 道新、その後順次申請
- 札幌市、NHK等へ名義後援、協賛、特別賞出賞の依頼
- 23日 時計台まつり実行委員会
- 24日 演奏会プログラム印刷発注
- 28日 「広報さっぽろ」7月号原稿依頼
- 30日 道新記事掲載(まつり記念行事)
- 6月5日 まつり事業チラシ送付
- 10日 消防署へ催物開催届提出
- 12日 第2回理事会
- 17日 児童絵画展作品募集案内依頼
- 26日 第1回時計台まつり記念演奏会
- 懐かしの昭和~Oldies Live~
- 7月1日 各小学校へ児童絵画展作品募集のチラシ配布、掲示依頼
- 26日 第2回時計台まつり記念演奏会
- 二胡の調べ
- 8月25日 児童絵画展作品受付開始
- 27日 第3回時計台まつり記念演奏会
- マリンバの世界へ
- 28日 第3回理事会
- 30日 児童絵画展審査依頼
- 9月12日 記念式典来賓出席依頼
- 13日 児童絵画展審査会
- 15日 呈茶打合せ
- 26日 第4回時計台まつり記念演奏会
- 時計台スウィングタイム
- 10月10日 道新に児童絵画展入選者発表
- 10日~16日 児童絵画優秀作品展示
- 16日 時計台創建136周年記念式典・優秀者表彰式・創建記念演奏会
- 第5回時計台まつり記念演奏会
- ピアノコンサート「ショパンの名曲とスペインの曲」
- 18日 呈茶
- 19日 児童絵画展受賞者への賞状・賞品の届出
- 22日 後援・協賛事業終了報告とお礼
- 23日 次年度時計台ホール使用申請
- 30日 時計台まつり記念行事会計監査
- 11月7日 H27年度時計台目的外使用申請許可申請
- 13日 第2回時計台まつり実行委員会
- 第4回理事会
- 12月1日 時計台まつり記念行事出演者の公募
- 「広報さっぽろ」に掲載
- 18日 会報原稿依頼
- 2月1日 会報「時計台の鐘」79号発行
- 3月10日 H27年度時計台まつり記念行事出演者決定・連絡

渡辺淳一―時計台寸描⑦

木原直彦

昨年(2014)の4月に渡辺淳一さんが80歳で亡くなった。上砂川町の生まれだが、11歳から25年もの人生の大切な季節に札幌に住み、数々の札幌を舞台にした作品を残している。数々から、まさしく舞台に札幌出身作家である。平成20年に札幌時計台創建130周年記念誌「時計台ものがたり」を編んだときに、時計台を描いた小説が無いことに気が付き、若き日に同人雑誌仲間だった心安立てに寄稿を依頼した。

それが「時計台を書く」というエッセイである。掻い摘むと……

札幌の人も旅人も時計台に憧れ、眺めていく。わたしも何度も訪れ、中に入ったこともある。鐘の音を聞いて元気になったことも、ある憂愁にとらわれたこともあった。なのに、小説にもエッセイにも書いていないことに気づく。あまりにも有名であり、描写自体が通俗なものになるのではないかと、そんな危惧があったようである。もう一つ、時計台について有島武郎や森田た

まなどが書いているが、具体的に書いたものはあまりないようで、してみると、「時計台の鐘が鳴る……」という歌があまりに有名で頭にこびりつき、錯覚していたのか。ならば、時計台を思い出し、別離の悲しみ、そして樹の間ごしに見えた時計台の明るさ心細さも。今度、照れずに堂々と書いてみたい。「一度も本格的に書いていない、父や母のことを書くのと似ているかもしれない」

おおいに期待していたのだが、ついに書かれることはなかった。残念である。

心臓移植批判を契機に上京して作家への道を歩み、北大の植物園を舞台にした「リラ冷えの街」や母校の南校を基点とした「阿寒に果つ」など、数々の取材作は札幌の大切な財産である。中島公園のほとりに建つ渡辺淳一文学館(中央区南12西6)で彼の「人と文学」を丸ごと知ることが出来る。

事務局だより

◆事務局長として一年半、やっと事務局長としての仕事の概要を把握できたように思います。時計台まつりの大切さを認識するとともに継続していく使命感をひしひしと感じています。時計台は、管理運営会社が民間になり、少しずつ変貌しています。観光客に対するアピールとともに札幌市民の皆さんに対してもアピールする面が見え始めています。この会の一番の目的は「札幌のシンボルである時計台を守り、より広く市民、道民、日本中の方々にこの建物の存在の大切さを伝えることです」。そのためにも新しい運営の風を感じながら互いに協力できる場所を見つけ、歩んでいかなければならないと思う今日この頃です。

◆NPO法人「さっぽろ時計台の会」を安定的に存続していくために、会員を増強しなければならぬと考えます。会員になっていただけませんか? 詳しくは、2511-5944(吉田)に連絡をお願いいたします。